



第74期 上期ビジネスレポート

2021年4月1日 >>> 2021年9月30日



綜研化学株式会社

証券コード：4972

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに、当社第74期第2四半期連結累計期間
(2021年4月1日から2021年9月30日まで)のビジネス
レポートをお届けし、当社グループの事業概況をご報告
申し上げます。

2021年11月
代表取締役社長 福田 純一郎



●第74期第2四半期(上期)の事業概況

上期の経済情勢は、各国における新型コロナウィルスのワクチン接種の進展や経済対策により、世界的な景気回復が進む一方で、変異株による感染再拡大や原油価格の高騰、物流網の混乱等による景気の停滞感が強まるなど、先行き

不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、深刻化する原材料調達難や価格高騰に対処し、安定的な製品供給の継続と適正利益の確保に最善を尽くすとともに、持続的成長に向けて、中長期的な需要を見据えた生産・供給能力の増強、

技術革新が進む自動車・情報電子分野など成長領域での製品開発・販売体制の強化、社会課題の解決を志向した医療ヘルスケア・エネルギー分野などでの新規事業開発にも積極的に取り組んでおります。

業績につきましては、液晶ディスプレイ関連の需要拡大が進む中国市場を中心に販売が伸びたことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。一方、利益面では、増販効果はありましたが、原油価格の上昇や需給逼迫に伴う原材料価格高騰の影響が大きく、価格転嫁やコスト削減等に努めたものの、各利益とも前年同期を下回る結果となりました。

●第74期通期の見通し

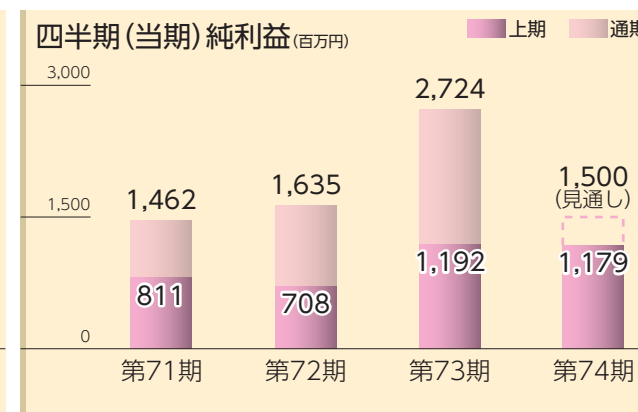
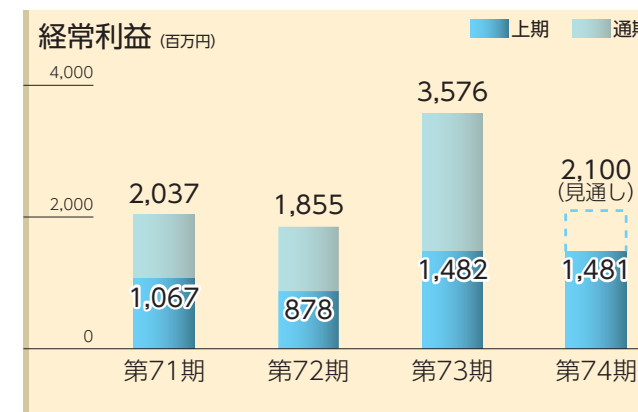
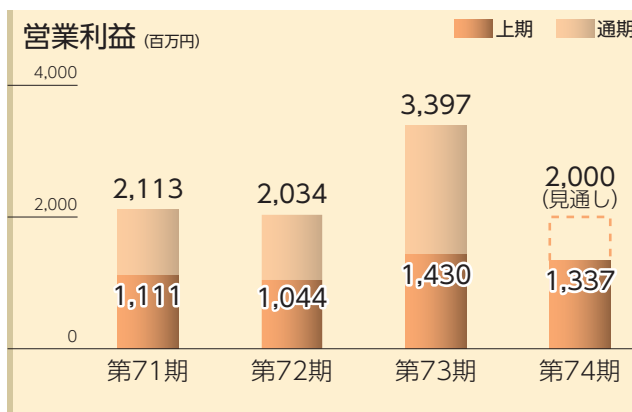
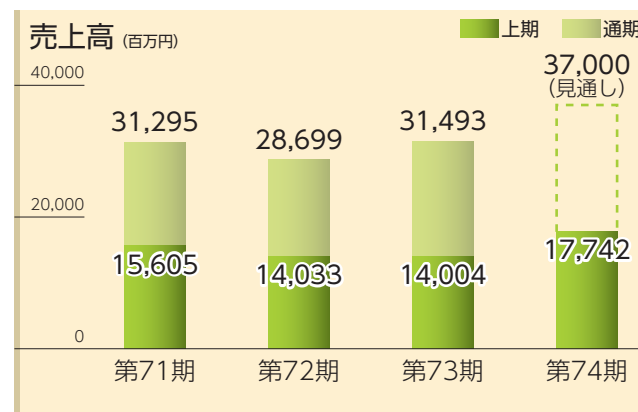
通期の業績見通しにつきましては、引き続き液晶ディスプレイ関連分野における粘着剤の販売が想定を上回る水準で推移するものと見ており、売上高は前期を大幅に上回る見通しです。

しかしながら、原油価格の高騰や、原料メーカーの設備トラブル、中国の電力不足などが続くなかで、更なる原材料価格の上昇が見込まれ、コスト削減や価格転嫁に努めてまいりますが、タイムラグが生じるため、短期的な収益性の悪化は避けられず、利益につきましては前期を大幅に下回る見通しです。

当社グループは、現下の厳しい事業環境を踏まえ、製品の安定供給と収益性の改善に最善を尽くすとともに、中長期的な需要を見据えた生産・供給能力の増強、環境負荷低減に役立つ高付加価値製品の開発、成長分野での新規事業創出などにも経営資源を積極投入し、持続的な成長を実現してまいります。

株主・投資家の皆さまには、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

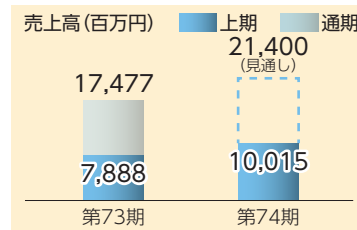


注)このレポートでは、「第2四半期累計」を上期と記載しています。

注)四半期(当期)純利益は、「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」を記載しています。

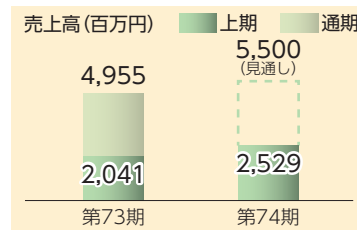
粘着剤

中国に生産集約化が進む液晶ディスプレイ関連分野での販売が想定以上に伸びておりますが、更なる需要拡大に対応するため、中国南京工場の生産能力増強を急ぐとともに、建材・自動車分野などでの中長期的なニーズ変化を捉えた環境配慮型製品の開発・販売にも取り組んでまいります。



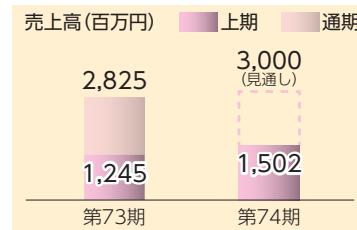
加工製品

中国市場において、価格競争が激しいスマートフォン関連分野で苦戦を強いられておりますが、注力分野である自動車分野では着実に実績を上げており、更に中長期での販売拡大を目指し、医療・情報電子機器分野などでの顧客開拓を進めてまいります。



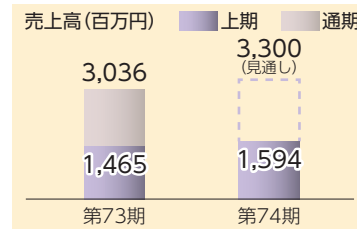
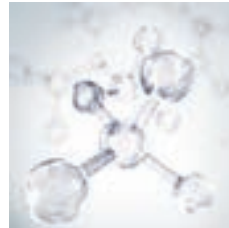
微粉体

需要回復が進む中国市場での光拡散フィルム用途の高シェア維持と、電子部品・電池関連分野などでの新規案件の立上げ、新規用途・顧客開拓に注力してまいります。



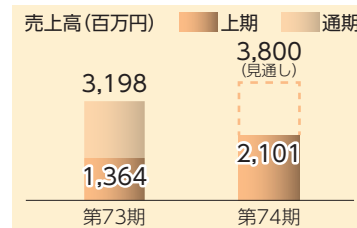
特殊機能材

中国市場における電子材料用途でのシェアの維持・拡大を図り、安定収益源の確保に努め、建材・電子部品分野などでの顧客ニーズの探索、海外展開に注力してまいります。



装置システム

国内設備投資の回復を背景に工事完成高が増加しておりますが、受注環境の先行きは未だ楽観視できる状況になく、設備診断サービスや3Dシステム、構造解析ソフトなどによる新サービス拡充による提案力の強化に注力してまいります。



●自動車加飾フィルム用粘着剤の製品化

当社は、自動車加飾フィルムの貼合せ工程でベタ付きが少ない良好な作業性と、貼付け後は長期間屋外でも剥がれない耐久性を兼ね備えた粘着剤を製品化しました。

自動車の外装加飾で用いられる従来のスプレー塗装方式は、生産工程全体におけるCO₂排出量の約3割を占めると言われています。加飾フィルムは、デザインを施したフィルムを外装部材に圧着させる加飾工法であり、スプレー塗装に比べて環境負荷が小さいことにくわえ、複雑なデザインや質感が付与出来ることから注目が高まっています。

当社が製品化した粘着剤は、長期間経過後も貼替え時に糊残りなく剥がせることが特徴で、自動車アフターマーケットでのフィルムの補修や貼替え需要の拡大にもつながり、自動車外装向け加飾フィルム用粘着剤の市場規模は、2030年に数十億円、2050年には数百億円になるものと想定しております。

また、自動車以外にもスマートフォンなどのディスプレイ機器や外壁材などの住宅資材・設備向けに加飾フィルムや半導体基板の封止フィルムなどへの展開が期待されています。今後も、長年にわたり蓄積した技術力を活かし、様々なニーズに適合した粘着剤を提供してまいります。

自動車内外装

内装加飾フィルムの貼り合せ

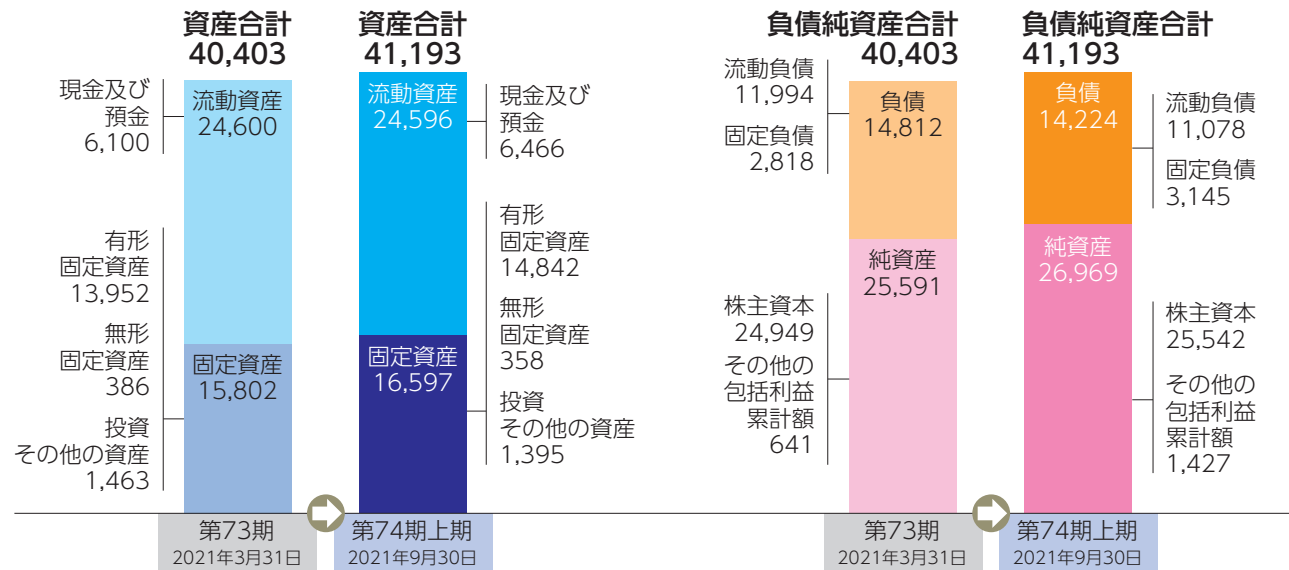


外装加飾フィルム、カーラッピングの貼り合せ

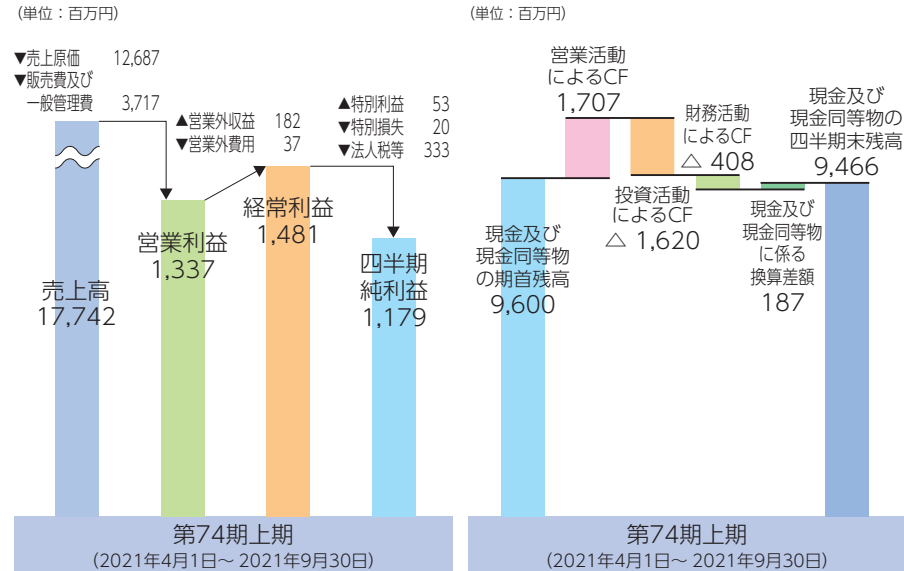
●中国子会社における粘着剤生産設備の増強

中国に生産集約化が進む液晶ディスプレイ分野での粘着剤の需要拡大に対応するため、綜研高新材料（南京）有限公司の生産設備増強投資を進めておりますが、主要顧客である偏光板メーカーの需要動向や設備投資計画などから中期的な供給能力不足が懸念されることから、更なる設備増強を急ぎ、2023年度までに生産能力を現状の3倍とし、中国市場での競争優位性をより一層高めてまいります。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



注) 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を記載しています。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

Check!

Point 1

① 連結損益計算書

売上高営業利益率は、原材料価格上昇に対する価格転嫁のタイムラグや中国子会社での活動経費の増加などにより、前年同期10.2%から2.7ポイント低下し7.5%となりました。

Point 2

② 連結貸借対照表

有形固定資産は、中国南京工場での粘着剤生産設備の増設工事や国内浜岡工場での物流関連設備の拡充などにより、8億90百万円増加し148億42百万円となりました。

(2021年9月30日現在)

会社概要

社名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズでは、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システムでは、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

役員 (2021年9月30日現在)

取締役会長	逢坂紀行
代表取締役社長	福田純一郎
常務取締役	滝澤清隆
取締役	佐藤雅裕
取締役	富田幸二
社外取締役	土屋淳
社外取締役	神山健次郎
社外取締役	布施木孝叔
常勤監査役	榎本稔
常勤監査役	泉浦伸行
社外監査役	鈴木仁志
社外監査役	安田恵

事業所

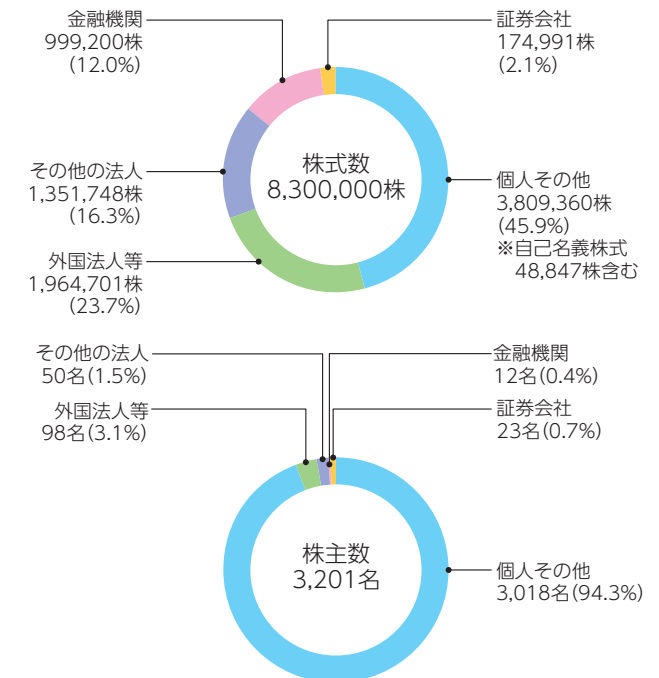
事業所名	所在地
本社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

主要な子会社

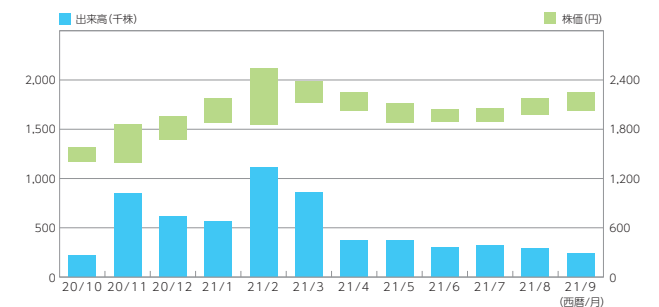
- 綜研テクノックス株式会社
- 綜研化学（蘇州）有限公司
- 寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.
- 綜研高新材料（南京）有限公司

発行可能株式総数 33,200,000株
発行済株式の総数 8,300,000株
株主数 3,201名

所有者別株式分布状況



株価(高値・安値)および株式出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金 支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載 URL: https://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

綜研化学株式会社

Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL: 03-3983-3171 FAX: 03-3988-9216
URL: <https://www.soken-ce.co.jp>



本レポートの表紙絵は、障がい者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティストうめの木事業所さんの作品(作品名:「秋のコスモス風景」)を使用させていただきました。

うめの木事業所(うめのきじぎょうしょ)

2013年5月開所。

障害に対する固定概念を外し、一人ひとりの新しい才能を開花させるとともに、生きがいづくり・やりがいづくり、そして仲間づくり及び社会の一員として生活するために支援することを理念とし、種々の作業をしつつ、自由で個性的な発想で絵の制作を行っている。

2013年 「揚立屋誕生20周年記念招き猫イラストコンテスト」佳作賞。

2014年 「放課後等デイサービスの光の子」開所。

2015年 アートビリティ登録作家となる。

綜研化学レポート 2021



当社グループにおけるサステナビリティを巡る課題への取り組みについて、年度毎の状況を詳しくご紹介しております。

当社ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

